

令和7年7月4日

周南たちばな学園
今井小学校 保護者 様

周南たちばな学園 統括校長 周南中学校長 平野 貴久
今井小学校長 金原 辰夫

登下校時の雷等への対応について（お願い）

平素より、本学園の教育活動に御理解と御支援をいただきありがとうございます。

さて、ここ数年において、突然の雷や突風、激しい降雨等、気象の変動が大きく、子どもたちの登下校中における落雷等による事故に対して危惧しています。

そこで、登下校時の落雷等への対応を次のようにしますので、御理解と御協力をお願いします。

記

1 「落雷の心配がある場合」とは…

- ① 袋井市に「雷注意報」が発表されており、かつ、
- ② 黒雲、突風や気温の低下、激しい降雨があり、雷鳴が認められる場合 とします。

2 その場合の登校は…

- ・原則として各家庭の判断で、待機をお願いします。
- ・待機により、各校の登校時間を過ぎて登校することになりそうなときは、学校へ御連絡ください。
- ・安全第一の対応ですので、登校が遅れても遅刻扱いとはしません。
- ・コドモンで対応について学校から連絡があった場合は、その指示に従ってください。

3 下校時間帯の対応は…

- ・気象状況を確認した上で、判断します。学校内で待機させる場合は、コドモンで連絡します。
- ・雷や突風、激しい降雨等が続く場合は、小学校の児童については、原則、学校内で待機させ、保護者への引き渡しによる下校とします。その際もコドモンで連絡します。

4 その他

- ・在校時間中に「落雷の心配がある場合」は、ただちに屋外での活動を中止し、屋内に避難します。
- ・学校から離れて活動する場合、「落雷の心配がある場合」は屋外での活動を中止して屋内の活動に切り替えます。

台風時を含め、上記のような気象に対応する緊急連絡が学校から発せられる可能性が高い状況の日は、コドモンの確認（または電話に出られる態勢）をお願いします。

裏面に落雷事故防止に関する資料を掲載しますので、御参照ください。

資料

落雷による事故は、生命に危機を及ぼす重大な事故になりやすいが、適切な判断により事故を防ぐことが可能であることから、屋外での活動中において、天候が急変しそうな予兆がある場合には、気象に関する情報を収集するとともに、早めに中断し避難等の対応を行うことが重要となります。

【予想される状況】

- ①「雷注意報」の発表。 ②真っ黒い雲が近づき、周囲が急に暗くなる。
- ③雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたりする。 ④ヒヤッとした冷たい風が吹き出す。
- ⑤大粒の雨や雹（ひょう）が降り出す。 ⑥近くに雷が落ちる。

【対応】

- ①雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたりした場合は速やかに屋内に避難させる。
※雷鳴が遠くても雷雲はすぐ近づいてくる。また、雨が降っていなくても落雷はある。
- ②校庭やプールでの活動等、近くに高いものがない場所で活動する場合は特に注意し、速やかに活動を中止し、屋内に避難させる。
- ③雷は短時間でおさまることが多いので、無理に登下校、帰宅等をせず、屋内に避難・待機する。
- ④自転車に乗っていたら、すぐに降りて安全な場所に移動する。

【避難場所等に関する留意点】

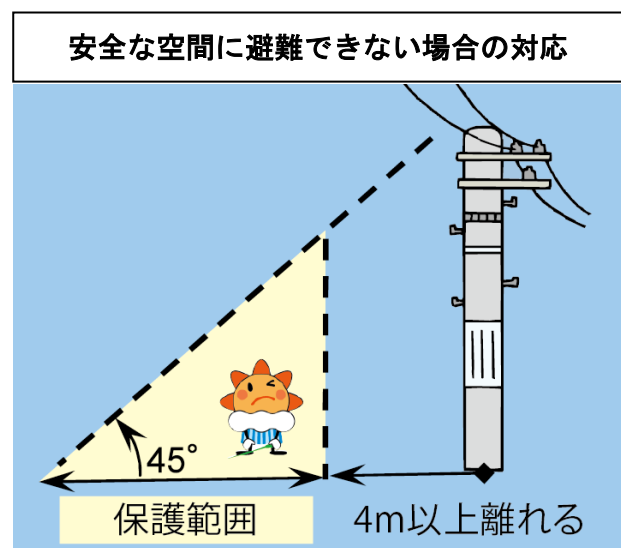
- ①建物の中、自動車、バス、列車の中等への素早い避難が求められる。
- ②軒先や外壁は、雷の通り道になること等に注意する。
- ③雷は高い場所に落ちやすい。立ち木に落ちると被害を受けるので、立ち木から離れたところに避難する。
- ④近くに避難する場所がない場合は、しゃがみこむ等できるだけ姿勢を低くする。

＜群馬県教育委員会事務局作成 災害対応マニュアル参照＞

近くに安全な空間が無い場合は、電柱、煙突、鉄塔、建築物などの高い物体のてっぺんを45度以上の角度で見上げる範囲で、その物体から4m以上離れたところ（保護範囲）に退避します。

高い木の近くは危険ですから、最低でも木の全ての幹、枝、葉から2m以上は離れてください。姿勢を低くして、持ち物は体より高く突き出さないようにします。雷の活動が止み、20分以上経過してから安全な空間へ移動します。

＜気象庁ホームページより＞



【雷の活動が止んだら…】

- ①雷鳴が止んでから20分程度は落雷の危険があることから、安全な場所で待機する。
- ②一つの雷雲が去っても、次の雷雲が近づく場合もあるので、新しい雷雲の接近に常に注意する。
- ③その後は気象情報等で安全を確認の上、活動を再開するかどうかの判断をする。